

下水道の大切さ

横北小学校

五年

渡田

寛貴

ぼくは、初め、下水道と聞いて、汚い水を  
 イキッと思いました。しかし、調べていると、

下水道は、お深くて興味があいてきました。

まず、下水道について、一番おどろいたこ

とは、下水処理場という所で、水がきれいに

されているという事です。なぜおどろいた

かというところ、水をきれいにする方法が、ぼくが

思っていたのと、ちがっていたからです。ぼ

くは、水をきれいにしているのは、機械だと

思っていました。でも、水をきれいにしてい

るのは、微生物だと知って、とてもおどろきま

した。微生物は、目に見えない小さな虫です。

ぼくは、茶色くにごった水をどうやって、微生

物がきれいにしているのが、気になりました。

とてもおどろいたことに、微生物がよごれを

食べるのを、さうびす。それを知って、びく

りしたと同時に、すごいなあと思いました。

もう一つおどろいたことは、下水道の歴史

です。昔のヨーロッパは、道に汚れた水を捨  
てていて、コレラという伝染病が流行したそ  
うです。ぼくは昔は不衛生で、いろいろな  
ところが汚かったんだなあと思いました。そ  
して、イギリスのロンドンでは、たんとんの  
死者がでて、ようやく下水道がつくられたそ  
うです。しかしまた、今のようた下水道では  
なかつたそうです。ぼくはそれを知って、汚  
いだけで死んでしまつてとつてもかわいそう  
だなあと思いました。今のようた、下水道が

できたのは、千九百十四年だそうです。これ  
でアツと汚れた水が原因で死んでしまふ人は  
いなくなつたんだなあと思いました。

日本では、明治時代になつて、下水道は本  
格的につくられたそうです。日本でも、千八  
百七十七年から、千八百七十九年にかけてコ  
レラという伝染病が流行して、死者がたんと  
んでたそうです。ぼくは、そのことを知つて  
、今も、下水道がなかつたら、たんとんの人  
が死んでいゝのかなあと思いました。だから

、下水道を大事にしようと思いました。下水道がないと、いろんな人が死んだり、町が不衛生になるといふことが分かり、とてもおいたなあと思いました。

ぼくは、今回、下水道の大切さを知りました。下水道は、ぼくたちが生活する中で欠かせないものだと思いました。それと同時に、ぼくたちができることは少しでも、地球の環境保持のいい生活を送れるようにしたいと思いましたが。少しでも、気を付ければ地球の環境を守ることにもつなげていき、ぼくたちが健康に生活することができるようになると思うので、下水道のことをもっともつと知りたいです。